

キャリア形成とキャリアコンサルティング

研究の概要

人の数だけ生き方があるように、キャリアも人それぞれです。人生にはいくつもの節目や転機があり、大学生であれば入学時や社会への移行となる就職時が転換期になります。女性であれば結婚や出産、ミドル世代になると管理職登用や部下育成、シニア世代ではセカンドキャリアなど、年代や状況によって直面する課題は異なります。転機には予期できるものもあれば、予期せぬ形で訪れるものもあります。どのようにキャリアを歩んでいけばよいのか、正解のない道をいかに自分なりの納得に近づけていくのか。こうした問いに対して、転機に焦点を当てながら、キャリア形成の課題を明らかにし、どのように支援していくことができるのかを研究しています。

研究の特徴

これまでキャリア形成に影響を与える2つの転機を取り上げてきました。

1. 初めての転機となる「就職」

大学は、若者が社会へと踏み出す大切な移行の場になっています。新卒一括採用が中心の日本では、大学時代の経験がその後のキャリア形成に大きく影響します。インターンシップは、学生が「働くこと」を具体的にイメージするうえで効果が高いと言われ、これまで、低学年次の意識調査やインターンシッププログラムの開発に取り組んできました。

2. 企業主導型キャリア形成の代表である「転勤」

共働きが一般化する今日、転勤は本人だけでなく家族のキャリア形成にも影響します。転勤を女性のキャリア形成の観点から捉え、「企業主導型キャリア形成」の転勤をいかに「自律型キャリア形成」へ転換あるいは両立させるかをテーマとして研究を進めています。

行政・経済界・地域と連携した取り組み例

傾聴力セミナー／キャリアコンサルタント希望者の支援（ロールプレイング）など

研究者からのメッセージ

1級キャリアコンサルティング技能士です。企業等における1on1や面談の進め方など、お役に立てることと思います。また、企業の採用力や育成力を高める支援もいたします。研究に限らず、お気軽にお問い合わせください。

研究分野：キャリア形成, キャリアコンサルティング, 人的資源管理

研究者の所属部局・職位・氏名：和歌山大学 教育機構 キャリア教育・支援部門・講師・川端由美子

本件に関するお問い合わせ：liaison@ml.wakayama-u.ac.jp